

まちのたから 発見

交流の場つくり 笑顔を届ける

日野レクリエーション協会「とんぼ」



▲「いろいろなレクリエーションの中から参加者に合わせて楽しんでいただけるものをお届けしています。会員募集中です」と、元気な笑顔が印象的な皆さん



▲ファイバークラフト講習会。花の髪飾りの出来上がり

● 日野レクリエーション協会「とんぼ」とは
平成4年2月、県内でも初めて福祉レクリエーションに重きを置いた団体として発足されました。20年前から、男女共同参画に関する企画も行うなど、時代の先を見据えた活動を続けておられます。現在の会員は17名。地域の福祉サロンや子ども大会などで、楽しいレクリエーションを届け

● 幅広い分野で活躍
地域に出向くだけでなく、大型紙芝居の作成や講習会の開催、シルバースポーツ大会の運営など、活動は幅広いもの。今年9月に滋賀で開催される「全国レクリエーション大会」の運営にも関わられています。7月9日には、一般の方に向けて、特殊な紙に色をつけて、動物や花などをつくる「ファイバークラフト講習

られています。「観客が笑顔になつてくださると、自分も元気になれる」「楽しかったと言つていただけることがうれしい」と、活動へのやりがいを体感されています。

● 「会話」に大切なもののレクリエーションとは、「人ととの交流の場をつくり、楽しみを得て、笑顔になつていただくためのもの。ゲームやクラフトなどは手段であつて、元気で楽しい『会話』こそが究極のレクリエーションです」と蒲生洋子事務局長。また、中川良男会長は、「後継者の育成を図りたい」と、これまでの活動を次世代へつなげることの大切さを語られました。

若手の会員を増やし活動して

いく中で、多くの人が笑顔になれる機会をつくる。皆さんによる笑顔づくりは、「生きがいづくり」「地域づくり」の原

点です。

会」を開催され、来年2月にも身近な材料を使って楽しく遊び講習会を予定されています。福祉関係の仕事を経験されている会員の方が多く、音楽療法やリサイクル品を使ったクラフトなど、さまざまな講習会を開かれる中で、「自身の仕事に生かされる方も。人前で話すこと」が苦手だった方は、「自分自身の成長にもつながります」と話されていました。

6月26日(日)、彦根市民体育センターで、第24回カロム日本選手権大会が開催されました。力コロムとは、木製の駒を自分の駒ではじいて四角い盤のコーナーに落とすゲームです。学童保育所ヒノキオと太陽の子の子どもたちがこの大会に出場され、6名が見事上位入賞を果たされました。7月4日(月)には町長を表敬訪問され、大会結果を報告されました。

上位入賞の方は次のとおりです。おめでとうございます。

① / 2位	愁人・村井悠馬	【太陽の子】△ダブルスクロクラス(ジユニア)
② / 2位	徳田竜一郎・中野群士	▽シングルスAクラス(ジユニア)
3位	寺澤佑珠妃	山下楳一朗 / 4位
4位	小林	(敬称略)



▲「やる前は緊張していたけれど、試合をしてみると楽しかった」「勝ててうれしかった」と感想を話されていました